

- 問1 メキシコシティは低緯度に位置していますが、気温が一年を通じて15度から20度の間でほぼ一定しており、過ごしやすい「常春」のような気候が特徴です。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 周辺を寒流が流れる海に囲まれており、海からの冷たい風が一年中吹き込んでいるから。
2. 広大な熱帯雨林の中に位置し、植物の蒸散作用によって地表の熱が常に奪われているから。
3. 標高の高い高原地帯に位置しているため、低緯度であっても気温が上がりにくく冷涼な状態が保たれるから。
4. 大陸の内部に位置し、乾燥した砂漠気候の影響で夜間の放射冷却が非常に激しいから。
- 問2 ある国の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と極めて低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約4万2000ドルと高い水準にあり、さらに小麦の生産量が年間3000万トンを超える世界有数の農業国でもある国はどこか、次の中から選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. インド
2. ナイジェリア
3. カナダ
4. ブラジル
- 問3 世界の主要な農産物統計において、アメリカ合衆国は生産量・輸出量ともに世界で極めて高いシェアを占めています。特に、家畜の飼料やバイオ燃料の原料としても広く利用され、世界の輸出量においてアメリカ合衆国が圧倒的な割合を占めている穀物はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 米
2. とうもろこし
3. コーヒー
4. 小麦
- 問4 アメリカ合衆国において、国内で複数の標準時（タイムゾーン）が設定されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 太平洋から大西洋まで複数の海域に面しており、海流の影響で気象条件が異なるため
2. 国土が東西に非常に広く、地域によって太陽が南中する時刻に大きな差があるため
3. 各州が強い自治権を持っており、州ごとに自由に標準時を決める権利があるため
4. 北緯40度付近を境にして、北側と南側で昼夜の長さの逆転現象が起こるため
- 問5 北アメリカ大陸の中央部において、1月の平均気温がマイナス10度を下回り、年間降水量が450mm程度という統計データを示す地域の自然環境の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖で雨が多いため、一年中葉を落とさない常緑広葉樹の森が形成されている。
2. 夏に雨が多いため、背の高い草と樹木が点在するサバナが広がっている。
3. 一年中高温多湿であるため、背の高い樹木が密生する熱帯雨林が広がっている。
4. 降水量が少ないため樹木が育ちにくく、背の低い草がまばらに生える草原となっている。
- 問6 サンフランシスコ郊外のシリコンバレーに代表される、アメリカ合衆国の高度な工業地域について、その地理的条件と産業の特徴を説明したものとして適切なものを次から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 北緯37度より北に位置し、冷涼な気候のもとで大規模な小麦の栽培と企業的な牧畜が発達した。
2. 北緯37度より南に位置し、温暖な気候を背景に航空宇宙産業や情報技術（ICT）産業が発展した。
3. 五大湖周辺に位置し、豊富な石炭や鉄鉱石の資源を利用して鉄鋼業や自動車工業が発展した。
4. 九州地方のように空港や高速道路の周辺にIC（集積回路）の工場が多数進出した。
- 問7 世界の州のうち、大量のエネルギー消費などを背景に、一人あたりの二酸化炭素排出量が非常に高い傾向にある州はどこですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. アフリカ州
2. アジア州
3. 南アメリカ州
4. 北アメリカ州
- 問8 アメリカ合衆国の人口構成において、カリフォルニア州、アリゾナ州、テキサス州といったメキシコと国境を接する南西部の州で、人口の10%以上を占めている、スペイン語を話す中南米からの移住者やその子孫を何と呼びますか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. ヒスパニック
2. アフリカ系アメリカ人
3. イヌイット
4. 日系アメリカ人
- 問9 世界の農産物生産量において、大豆の32.5%、とうもろこしの35.2%という極めて高い世界シェアを占める一方、小麦のシェアは10.6%にとどまり、カカオ豆の生産がほとんど行われていない地域はどこですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 北アメリカ州
2. ヨーロッパ州
3. 東南アジア
4. 南アメリカ州
- 問10 アメリカ合衆国で行われている、広大な農地で大型機械を利用する「企業的農業」の特徴について、生産性の観点から正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 労働者1人あたりの生産量（労働生産性）は高いが、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）は低い。
2. 広大な土地に大量の労働力を投入するため、労働生産性と土地生産性の両方が極めて高い。
3. 農地の面積に対して従事者が非常に多いため、労働生産性と土地生産性の両方が低い。
4. 労働者1人あたりの生産量（労働生産性）は低い、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）は高い。
- 問11 アメリカ合衆国において、北緯37度付近より南に位置し、1970年代以降にICT産業（情報通信技術産業）や宇宙産業などの先端技術産業が急速に発展した温暖な地域を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. シリコンバレー
2. スノーベルト
3. グレートプレーンズ
4. サンベルト
- 問12 アメリカ合衆国の工業構造の変化と、サンフランシスコ近郊に位置する「シリコンバレー」の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
1. 豊富な石油資源や宇宙産業を背景に、メキシコ湾沿岸で急速に発展した。
2. 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。
3. 五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を利用した、大規模な鉄鋼業の拠点となっている。
4. 自動車産業の工場が集中し、かつて「世界の自動車の都」と呼ばれた。
- 問13 ロッキー山脈やアンデス山脈を含む造山帯は、地球の表面を覆うプレートの動きによって形成されました。この造山帯で見られる自然環境の特色について、背景を含めた説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. ユーラシア大陸から続く巨大な山系の一部であり、プレートの衝突によって形成されたため、火山はほとんど存在しない。
2. 地殻変動が現在も続いている新しい山地であるため、標高が高く険しい山々が連なり、地震や火山活動が活発である。
3. 長期間の浸食を受けた古い山地であるため、標高は比較的低く、なだらかな地形が広がっており、地盤も安定している。
4. 非常に古い時代に形成された安定した地塊であるため、大規模な地震の発生はほとんどなく、金属資源の採掘が盛んである。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 標高の高い高原地帯に位置しているため、低緯度であっても気温が上がりにくく冷涼な状態が保たれるから。	メキシコシティは北緯20度付近の低緯度に位置していますが、標高が約2240mと非常に高いため、高度が上がるにつれて気温が下がる現象（気温の垂直分布）により、年間を通じて温暖な気候となります。このような高地特有の気候は、アンデス山脈にあるボゴタやキトなどの都市にも共通して見られます。
問2	答え 3 カナダ	北アメリカ大陸の北部に位置するこの国は、ロシアに次ぐ世界第2位の広大な面積を持ちますが、寒冷な気候などの影響もあり人口密度は非常に低くなっています。一方で、広大な平原を利用した大規模な機械化農業が発達しており、少ない労働力で大量の小麦の生産量を実現しています。また、先進工業国として1人あたりの国内総生産も高いのが特徴です。
問3	答え 2 とうもろこし	アメリカ合衆国は世界最大の農業国の一つであり、特に中央平原の「コーンベルト」と呼ばれる地域でこの作物を大量に生産しています。統計上、アメリカ合衆国は世界全体の生産量の約3割、輸出量の約3割から4割を占めることがあり、国際的な価格決定に大きな影響を与えています。小麦も生産・輸出ともに多いですが、輸出シェアの高さや飼料・燃料としての多目的利用という点では、とうもろこしがより顕著な特徴を示します。
問4	答え 2 国土が東西に非常に広く、地域によって太陽が南中する時刻に大きな差があるため	アメリカ合衆国やロシア、カナダのように東西に広大な国土を持つ国では、国内で共通の標準時を用いると、実際の太陽の動き（日の出や日の入り）と時計の時刻が大きくずれる地域が出てしまいます。そのため、国内をいくつかの時間帯に区切り、それぞれに異なる標準時子午線を設定することで、生活の実態に合わせた時間管理を行っています。
問5	答え 4 降水量が少ないため樹木が育ちにくく、背の低い草がまばらに生える草原となっている。	年間降水量が450mm程度という環境は、一般的な樹木の生育に必要な水分を下回っているため、森林ではなく草原（ステップ）が形成されます。また、1月の平均気温がマイナス10度を下回るというデータは、海から遠く離れた大陸内部であることを示しており、夏と冬の気温差（年較差）が大きい大陸性気候の特徴と、半乾燥の気候条件が組み合わさったグレートプレーンズの様子を正しく説明しています。
問6	答え 2 北緯37度より南に位置し、温暖な気候を背景に航空宇宙産業や情報技術（ICT）産業が発展した。	シリコンバレーなどの先端技術産業が集積する地域は、アメリカ合衆国の南部に広がるサンベルトに含まれます。この地域は北緯37度を境界の目安としており、温暖な気候が労働環境として好まれたことや、大学との連携による技術開発が進んだことで、従来の重化学工業に代わる新しい産業の拠点となりました。
問7	答え 4 北アメリカ州	北アメリカ州は、高い生活水準や自動車の普及、高度な工業化などを背景に、一人あたりの二酸化炭素排出量が非常に多くなっています。
問8	答え 1 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、メキシコなどの中南米諸国から移住したスペイン語を話す人々をヒスパニックと呼びます。彼らは地理的に近いアメリカ南西部の州に多く居住しており、近年、その人口は急速に増加して、アメリカにおける最大規模のマイノリティ（少数派グループ）となっています。
問9	答え 1 北アメリカ州	大豆やとうもろこしの生産で世界的に高いシェアを持っているのは北アメリカ州（主にアメリカ合衆国）の特徴です。北アメリカ州では小麦の生産も盛んですが、大豆やとうもろこしほどの占有率ではありません。また、カカオ豆は低緯度の熱帯地域で栽培される作物であるため、温帯から冷帯が中心の北アメリカ州ではほとんど生産されません。
問10	答え 1 労働者1人あたりの生産量（労働生産性）は高いが、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）は低い。	企業的農業は、少人数で広大な土地を経営するため、大型機械による効率化が進んでおり、労働者1人あたりの生産量（労働生産性）が非常に高いのが最大の特徴です。一方で、1ヘクタールあたりの収穫量（土地生産性）に注目すると、細かな手入れを行う集約的な農業に比べて低くなる傾向があります。これは土地の広さを活かして「薄く広く」生産しているためです。
問11	答え 4 サンベルト	北緯37度以南の地域は日照時間が長く温暖な気候に恵まれていることから、この名称と呼ばれます。かつて工業の中心だった北東部の「スノーベルト」に対し、広大な土地や安価な労働力を背景に、新しい産業が集積するようになりました。
問12	答え 2 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。	シリコンバレーは、スタンフォード大学などの高度な教育・研究機関と密接に連携することで、新しい技術やビジネスが次々と生まれる環境が整っています。かつてのアメリカ工業を支えたピッツバーグ（鉄鋼）やデトロイト（自動車）とは異なり、知的財産やソフトウェア、電子デバイスを強みとする「知識集約型」の産業が特徴です。
問13	答え 2 地殻変動が現在も続いている新しい山地であるため、標高が高く険しい山々が連なり、地震や火山活動が活発である。	環太平洋造山帯は「新期造山帯」に分類されます。これは、比較的新しい地質時代に造山運動（山を作る動き）が始まり、現在も進行している地域を指します。そのため、エベレストなどを含むアルプス・ヒマラヤ造山帯と同様に、山が鋭く高く、地震や火山などの自然災害が起こりやすいという因果関係があります。対照的に、長年の浸食で平坦になったものは古期造山帯や安定陸塊と呼ばれます。